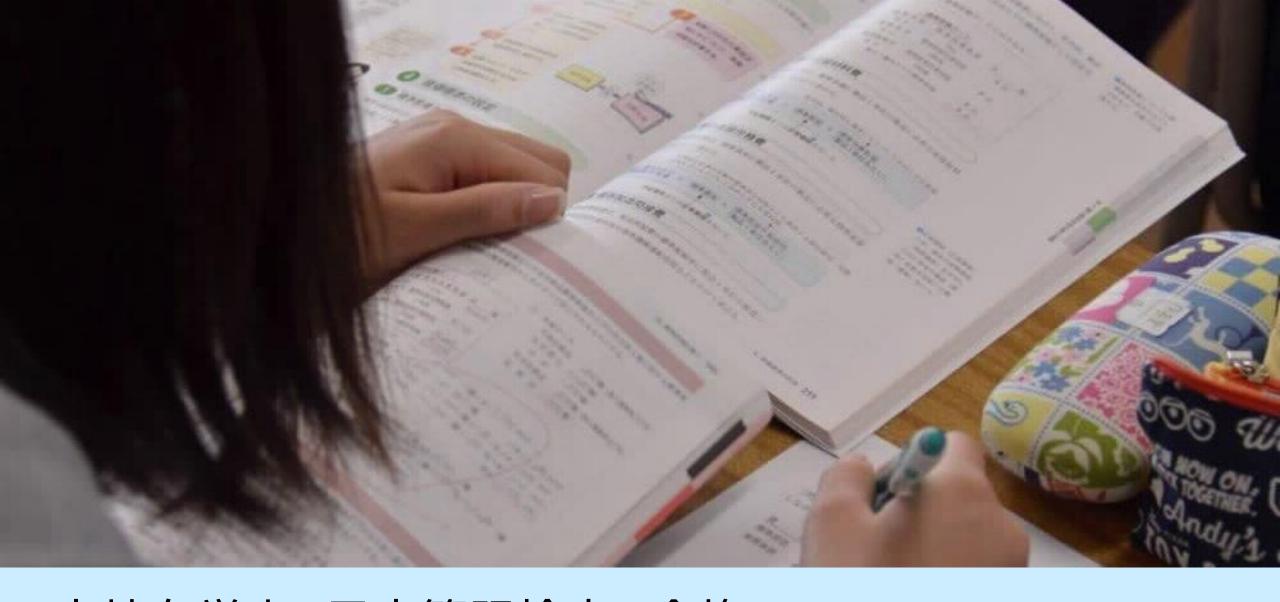


専門高校における高等教育機関との連携に係る先進的な取り組みについて 新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループ(第5回)

大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校長 平 寿之 http://www.ocec.ne.jp/hs/obf/



高校在学中 日商簿記検定に合格 指定校推薦で4年制大学商学部へ進学 —— しかし……

大学での簿記の授業は「簿記とは……」から始まる。。。

高校で学んだことばかり。 大学の授業ってこんなものなのかな。 時間の無駄かなぁ。

同級生の多くは普通科出身…… 簿記のことなんて全然知らない。。。

孤独だな。。。。。。

大学に進学した専門高校生にとって解決すべき課題

- 指定校推薦で進学する生徒は各大学へ各校1名程度
- 受験するための条件には成績と資格が必要
 - 資格に裏付けられた高い専門性があるにも関わらず、大学では初歩から学ぶ 愛数名のための特別プログラムは困難



高大接続による課題解決

大阪ビジネスフロンティア高校

英語 ICT

簿記·会計

(志願者20名全員が日商簿記2級を取得)



連携大学

入学後、日商簿記1級取得をすぐにめざす

特別入学生でゼミ編成、専門性をさらに高めることをめざす

高大接続7年間を見通したプログラム

大学や産業界と連携して高校・大学7年間を見通した教育を行う新しいタイプの高校です おもに社会科学系学部(商学・経営学・経済学等)・語学系学部へ進学しています Step 4~7 (大学1~4年生)

社会科学系学部

語学系学部

に進学

高度な専門知識を学び、

ビジネスのプロフェッショナルになる

Step 3 (本校3年生)

ビジネスのスペシャリストとして

進路希望に応じた選択科目で一人ひとりの

『夢』につなげる

Step 2 (本校2年生)

探究型学習や企業との連携講座、

課外活動を通して社会人として必要とされる

『社会人基礎力』を身につける

Step 1 (本校1年生)

文章を読み取る力、表現する力を身につける 「英語」「簿記会計」「情報」の力で 『夢』につながる扉をひらく

連携大学への特別入学制度で四年制大学に有利に進学

〈特別入学制度について〉

従来の入試制度と異なり、入学試験にかわり、本校在学中に一定の成績を修め、「英語」「簿記会計」「情報処理」のライセンスを取得することや、連携大学との連携プログラムに参加し、成果を収めることによって、およそ 60 名の生徒が連携大学へ進学することができます。

連携大学・学部への特別入学制度

入学試験は実施しない(大阪市立大はセンター試験あり)

- 在学中の成績
- 「英語」「簿記・会計」「情報処理」の資格
- 高大接続科目を中心とした探究活動への取り組み(12単位)
- 高大連携プログラムへの参加



"連携大学"で高校の学びを伸ばす特別プログラム

連携大学・学部

大阪市立大学 商学部 (センター試験あり、最大6名)

関西大学 商学部(20名)

関西外国語大学 英語国際学部 (20名)

京都産業大学 経営学部 (5名)

桃山学院大学 経営学部(20名)

高大接続科目で大学水準の授業を実施

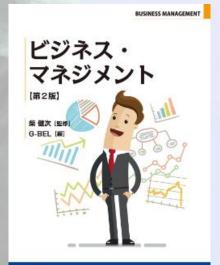
高大接続科目(3単位×3年間=9単位)

- 1年次「ビジネス基礎」
- 2年次「ビジネスマネジメントI」
- 3年次「ビジネスマネジメントⅡ」

利用するオリジナルテキスト

- 『ビジネス・アイ』 (ビジネス基礎の副教材)
- 『ビジネス・マネジメント』
- ・連携大学教授陣が本校のために執筆





開校時から続く探究型学習の実践

ビジネス基礎 ビジネスマネジメント I・II 課題研究

ビジネスに関する具体的な事例をとりあげ、探究型学習を通して「考える力」を育成



大学での高度な学問研究へステップアップ

高大接続科目で学ぶ内容

ビジネス基礎『ビジネス・アイ』

ビジネスとは何か

ビジネス・マネジメント

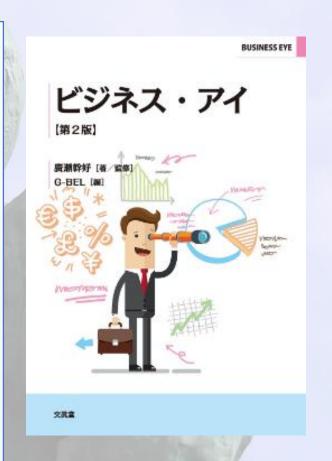
ビジネス・マネジメントとは

ビジネス・マネジメントと会計情報

事例1

変化するビジネス活動

ビジネスの成功とイノベーション



高大接続科目で学ぶ内容

ビジネス・マネジメント

ビジネスと経済社会

ビジネスの担い手

ビジネスのマネジメント

マネジメントに指針を与える経営戦略コストのマネジメント

ビジネスとグローバリゼーション



事例 2

実践的な企業との連携講座

(2年次「ビジネスマネジメントI」連続講座)

※平成26年度まで

◆あずさ監査法人との連携授業 「よい会社、悪い会社を見抜く」

財務分析の基礎を学ぶ

- 企業研究
- 財務指標分析
- ・株価推移の追跡と バックグラウンドの研究



実践的な企業との連携講座

(2年次「ビジネスマネジメントI」連続講座)

※平成27年度以降

◆あずさ監査法人との連携授業 「Business Game~究極のお弁当と究極の戦略~」

数多くの意思決定

- ターゲットの選定
- ・ 出店場所の検討
- •原価計算
- ・利幅の決定
- ・ 販売数の決定
- 損益計算と分析・改善



実践的な企業との連携講座

(2年次「ビジネスマネジメントI」連続講座)

メリット

- ・監査法人に勤める現役の 公認会計士約30名と協働
- ・およそ半年間の連続授業
- 大学卒業後に「公認会計士」になるイメージ



カリキュラム



グローバル時代のビジネスで通用する教養や言語力の育成

- ・ 共通教科の充実(しかし専門科目もしつかり行う)
- 週3日の7時間授業 少人数編成で言語力の育成

卒業生から公認会計士を11名輩出

◆平成29年 1名合格◆平成30年 5名合格◆令和 元年 5名合格

有限責任あずさ監査法人 有限責任監査法人トーマッ 太陽有限責任監査法人 などで活躍中

そのほかの本校卒業生の実績

◆ファイナンシャルプランナー

◆ベンチャー企業を起業

◆中学校・高等学校教員



関西大学商学部

会計分野での連携

会計連携プログラム(ALSP: Accounting Linkage Special Program)

- 公認会計士の資格取得に向けて効果的なカリキュラム
- 専任教員や外部講師による演習形式の講義
 - 専門的な知識を習得
- ・講義は定員制で実施
 - ゼミ形式のワークショップ科目など

関西大学商学部

ビジネス分野での連携

ビジネスリーダー特別プログラム(BLSP: Business Leader Special Program)

- プロジェクト実践力と英語力を同時に育成
- 自ら率先して行動
- プレゼンテーションで通用する英語力を持つリーダー
- ・企画力や実践力をもとに、研究発表・コンテストへ参加



「選択と集中」

これまでの商業高校・商業科

・全商検定9種目の資格取得をめざす

就職

企業での自己肯定感・自己有用感は高い

進学

大学での自己肯定感は低い 大学での「英語」が難しい 一度習った簿記・会計をまたはじめから...



- √高校時代の勉強を基礎に大学で応用を学べる
- ✓公認会計士試験の取得の基礎となった
- √ 高校で基礎を学んでいたおかげで、大学の高度 な授業についていけたと感じているから
- ✓ 高校で学んでいなかったら、大学の授業について いけなかったと感じたから

学部内でリーダーシップ・フォロワーシップを発揮



自己有用感を実感しつつキャンパスライフを送る



平成30年度資格取得実績

			1年	2年	3年	合計
英語	STEP	2級	9	25	51	85
		準2級	90	153	133	376
	全商	1級	25	112	111	248
簿記	日商	2級		23	56	79
	全商	1級		142	110	252
		(会 計)		148	105	253
		(原価計算)		208	161	369
情報 処理	全商	1級		166	161	327
		3級	276	269	264	809

26

本校での学びを通して



選択と集中による高度な資格取得にむけた手厚い支援大学入学後も継続する自己肯定感・自己有用感の高さ

グローバルビジネス社会で「生き抜く力」



28

社会の変化に対応する人財の育成

◆グローバル観の養成

- 自他の違いを認める
- さまざまな立場の視点に立つ
- ◆経済社会をリードする
 - 新たなことを恐れずにチャレンジする
- ◆ビジネスの3言語をマスターする
 - 英語・会計・情報の高度資格に挑戦
 - 使える外国語を学び、世界とつながる
 - ・会計情報を分析し、マネジメントに貢献する
- ◆ICTを活用する

学校基本情報

目 的

大学・産業界との連携

「グローバルビジネススペシャリスト」の育成

設置学科

"英語"と"ビジネス"を学ぶ「グローバルビジネス科」

平成24年4月、全国にさきがけて設置・開校。単一学科としては全国唯一。

定員

全日制課程 840名

(1学級40名×1学年7クラス×3学年)

所 在 地

大阪府大阪市天王寺区烏ヶ辻2丁目

(+人)大阪市立天王寺商業高等学校地)



専門高校における高等教育機関との連携に係る先進的な取り組みについて 新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループ(第5回)

大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校長 平 寿之 http://www.ocec.ne.jp/hs/obf/